

No.13

ちくまさかき

危険物防火管理協会報



～ 10月3・4日千曲市にて長野県総合防災訓練を実施～
千曲坂城危険物防火管理協会

発行日 平成28年1月 発行人 田島光雄 発行 千曲坂城危険物防火管理協会
編集 千曲坂城消防本部 更埴消防署内 危険物係(協会事務局)
千曲市大字杭瀬下84 TEL 026-274-0119 FAX 026-273-1119
E-mail:chikumasakaki@ag.wakwak.com

会長あいさつ

千曲坂城危険物防火管理協会
会 長 田 島 光 雄



謹んで年の初めのご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、清々しく新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、平素は当協会に対しまして、ご高配を賜り衷心より厚くお礼申し上げます次第です。

昨年は大規模な自然災害が全国各地で猛威を振るい、関東地方及び東北地方で発生した豪雨、「平成 27 年 9 月関東・東北豪雨」により茨城県常総市の堤防が決壊し、8 名の尊い命が犠牲となってしまいました。また、口永良部島新岳では大規模な噴火があり、まさに日本中、豪雨や積雪、地震など様々な災害が発生しており、地球規模での環境変化による自然災害の恐ろしさを

強く感じたのではないのでしょうか。

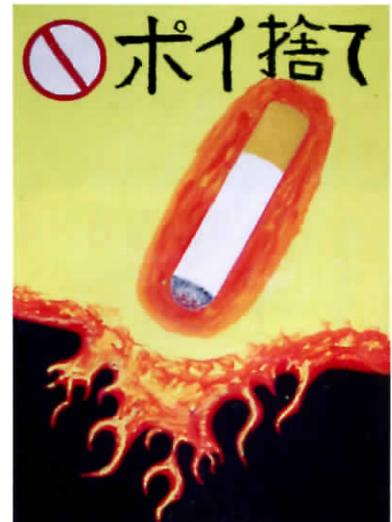
経済においてもアベノミクスによる経済効果の一方、消費税増税に伴い依然として経済状況も芳しくなく、長いトンネルの出口は未だ見出せない状況が続いておりますが、厳しい社会情勢の中においても会員の皆様方のご理解、ご協力により当協会事業が順調に推移出来ていることに改めて感謝申し上げます。このような中において当協会事業として 6 月 5 日に佐久市で長野県危険物安全大会が開催され当協会からは優良事業所 2 社、優良取扱者 4 名が表彰されたほか、9 月 25 日に群馬県方面での視察研修を行い、群馬県太田市の富士重工業株式会社矢島工場様、平成 26 年に世界遺産登録された同県富岡市富岡製糸場様を視察させていただきました。富士重工業株式会社矢島工場ではスバル車が出来上がるまでの工程を銅板が型枠へ切り取るころから乗用車が出来るころまで隔々に渡り見学させていただきました。

また、10 月には恒例の「応急手当のできる店・事業所」の救命講習会を開催したところ、大勢の申し込みがあり、参加した皆様は全員優秀な成績で修了証を交付されたと聞いて、誠に心強く感じている次第です。

そんな 2015 年ではありましたが、明るいニュースもありました。ラグビーワールドカップ 2015 開幕戦で日本代表は南アフリカ代表から 24 年ぶりとなる W 杯を勝利し日本代表最多得点記録保持者でもある五郎丸選手の活躍と精神統一ポーズに私も含め多くの日本国民が勇気と感動を与えられたのではないのでしょうか。

昨年、千曲市・坂城町においては会員の皆様のご尽力もあり、幸い大きな事故や火災はありませんでしたが、近年の気候変動により今後発生することが予想されている大型台風や竜巻、局地的豪雨などの風水害、また近い将来発生することが予想されている東海・東南海地震等に備え予防規程、消防防災に関する計画等の再確認、見直しをお願いしたいと思います。

最後になりましたが、昨年 6 月に長野県危険物安全協会会長に就任致しました。つきましては微力ではございますが当協会はもとより長野県内の危険物安全協会発展のため専心努力いたす所存でございます。今後も特段のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員皆様のご健勝とご発展を祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



千曲坂城消防本部「ポスター展」
最優秀賞
千曲市立治田小学校 6 年生
小山 天音さん

平成27年度 通常総会開催される

平成 27 年度の通常総会が 5 月 15 日（金）千曲市総合観光会館において開催されました。先ず議事審議が行われ、昨年度の事業、決算等が原案どおり認定されるとともに、平成 27 年度事業及び予算等も承認されました。

今年度の歳入歳出は、1,767,881 円で前年度と比較しますと 73,750 円の減額となり、協会の台所事情も厳しいものがありますが運営に当たり協会の発展に努めたいと思いますので、一層の御理解、御支援、御協力をお願いします。総会の席上においては、永年にわたり危険物の取扱いと防火管理に関して功績のあった優良事業所と優良危険物取扱者に当協会長表彰が行われるとともに、長野県危険物安全協会長表彰の伝達がありました。

なお、6 月 5 日に佐久市で開催された長野県危険物安全大会において長野県危険物安全協会長表彰を優良事業所 2 施設、優良危険物取扱者 4 名が、それぞれ受賞されました。受賞者は下記の方々です。おめでとうございます。



平成27年度受賞者

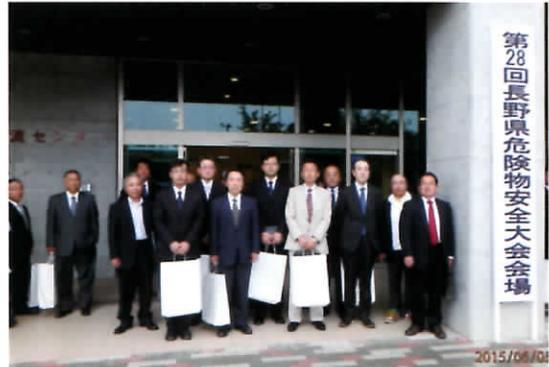
●社団法人長野県危険物安全協会長表彰

【優良事業所】

交和物産株式会社 本社工場
ホテル亀屋本店

【優良危険物取扱者】

柳 澤 謙 二 「柳屋商事株式会社」
細 田 信 「JX 日鉱日石エネルギー株式会社
北信油槽所」
鈴 木 繁 伸 「特定医療法人財団大西会 千曲中央病院」
合 津 康 夫 「丸善食品工業株式会社」



●千曲坂城危険物防火管理協会長表彰

【優良事業所】

介護老人保健施設 ひまわり

【優良危険物取扱者】

田 中 和 也 「柳屋商事株式会社」



※敬称略

防火管理講習会・防火管理者会議開催



この講習会を受講した皆様は、防火管理者に選任された際には、お客様や従業員の命を守る防災の責任者として活躍されることをご期待申し上げます。

また、11月5日には千曲市更埴文化会館あんずホールにおいて、秋の火災予防運動の主旨の徹底を図るため防火管理者会議を開催し、171名の方が出席されました。

新年を迎え、厳寒期となるこの時期は、暖房機器の使用が本格的になるとともに火災危険も増加します。防火管理者の皆様には、今後もより一層の火災予防に努めていただきたいと思います。

甲種防火管理講習会が5月27日、28日（千曲市更埴文化会館）、10月15日、16日（千曲市更埴文化会館）の2回開催され、計97名の方が受講されました。

講習会では防火管理の意義・制度及び関係法令の講義から始まり、防火管理対策や各種消防用設備の維持管理、地震対策等について学び、2日目には効果測定（試験）、消火器及び屋内消火栓を使用した模擬消火訓練や煙体験訓練等の実習を行い、効果測定では受講者全員が優秀な成績を修め、修了証が交付されました。



LPガス・灯油タンク巡回指導実施

国民安全の日（7月1日：安全安心な社会を築くための啓発活動）に併せて、一般家庭の灯油用ホームタンクやLPガスの安全性を調査・指導する巡回指導を坂城町（上五明）地区において千曲坂城消防本部と長野県LPガス協会長野支部と共催で7月1日に実施しました。



LPガスは、ガスボンベ転倒防止用の鎖が緩んでいたり位置が悪いもの、圧力調整器が古いものなど若干の問題点が数件確認されたものの概ね良好に設置されていました。ホームタンクは地震などの揺れに対する転倒防止対策（脚部固定等）や灯油が漏れ出した場合の流出防止対策（防油堤等）が施されていない家庭が見られました。

東日本大震災では津波の影響がなかった地域でも、ガスボンベやタンクの転倒が多数見受けられたそうです。また、冬期は暖房用の燃料として灯油の使用量が増えますが、それに伴って、小分け中にその場を離れたためポリタンクから灯油があ

ふれ流出したり、経年劣化により腐食した穴の開いた配管等から灯油が流出するといった事故も多くなります。灯油などの危険物の流出は、火災が発生する危険性が高くなるのはもちろんのこと、土壌や水質汚染なども含め広範囲に重大な影響を及ぼします。是非ともこの時期に配管やタンク周辺の安全確認を行いましょう。

また、灯油やLPガスの販売及び配達業務を行う会員の皆様には、取扱いの専門家として、顧客の皆さんに事故防止のための積極的なアドバイスをお願いします。



～10月3・4日長野県総合防災訓練実施～

**【想定】千曲市に震度6強の地震発生
県内12消防本部・航空隊・県警察本部が集結**



平成 27 年 10 月 3 日と 4 日の 2 日間にわたり、千曲市付近を震源とする震度 6 強の地震が発生した想定で長野県総合防災訓練が実施されました。

千曲市では、26 年ぶりの開催となる大規模な県防災訓練になりました。

この訓練は、長野県消防相互応援協定及び長野県緊急消防援助隊受援計画に基づき、長野県下 12 消防本部、長野県、防災航空隊（長野・山梨・群馬）、自衛隊、長野県警本部、長野県 DMAT、信州ドクターヘリ、千曲市消防団など、

車両延べ 380 台、ヘリコプター 6 機、人員約 3,000 名が参加し、千曲市に発生する可能性の高い土砂災害に対応した救出訓練、上空及び地上からの被害状況把握訓練、特殊災害として異臭事案による被害対応・避難誘導訓練も実施されました。



協会視察研修

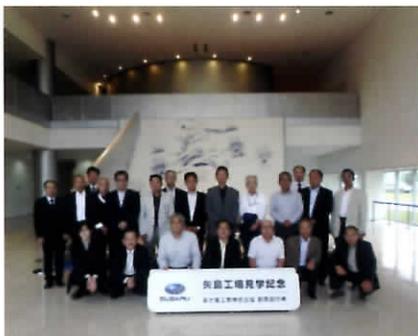


9月25日群馬県「富士重工業群馬製作所矢島工場」様、「富岡製糸工場」様への視察研修が行われました。詳細な研修記を、ちくま農業協同組合 野上敬史様をお願い致しました。

平成 27 年度千曲坂城危険物防火管理協会 視察研修に参加して

ちくま農業協同組合 野上 敬史

千曲坂城危険物防火管理協会の視察研修が9月25日（金）に行われ、参加させていただきました。例年1泊2日の視察研修会でありましたが、今回は日帰りの視察研修会であり、富士重工業群馬製作所矢島工場と富岡製糸工場の2か所を視察見学させていただきました。富士重工業（スバル）の「モノづくり」は、前身である中島飛行機から受け継がれてきた航空機設計の基本思想の基に築かれているそうです。群馬製作所では、「世界一の高品質・高効率とクリーンで快適な工場」を目指し、「お客様第一のモノづくり、ひとつづくり、工場づくり」に取り組んでいる製作所で、群馬県内に、本工場・矢島工場・大泉工場・北工場があり、今回主力工場である矢島工場のプレス工程・ボディ溶接組立工程・トリム工程・完成検査工程を視察させていただきました。プレス工程では、自動車用鋼板が切断されプレス機械により形成されるところを視察し、ボディ溶接組立工程では、混流生産方式により一本の生産ラインで複数の形状のボディを作り分け、コンピューター制御により、それぞれの車型に必要な溶接がされているところを視察致しました。ペイント工程につきましては、極度に塵やほこりを嫌う気密性を考慮した建物であるため、今回は視察できませんでしたが、塗装の完了したボディに各種内外装部品を取り付けるトリム工程を視察し、最後に完成検査工程を視察致しました。東京ドーム約12個分ある大変大きな敷地内にある工場を視察させていただき、お客様第一のモノづくり、ひとつづくり、工場づくりに取り組んでいることが良くわかりました。



敷塚温泉で昼食をとり、平成26年に世界遺産に登録された、富岡製糸場を見学致しました。富岡製糸場は、明治5年（1872年）明治政府が日本

の近代化のために最初に設置した模範器械製糸場で、開業当時の操糸所・繭工場等が現存しており、日本の近代化だけでなく、絹産業の技術革新・交流等にも大きく貢献した工場で、世界遺産登録後、大変大勢の観光客で賑わっているそうです。

今回の視察研修会は、朝から 1 日雨降りでしたが、普段行くことの無い富士重工業群馬製作所矢島工場の視察と、世界遺産に登録された富岡製糸場を見学でき、有意義な 1 日を過ごすことができました。ありがとうございました。

「応急手当のできる店・事業所」普通救命講習会を開催

心肺蘇生法を知っていますか？



普通救命講習会を受講して

千曲市立上山田保育園 渡邊 結佳

私の勤務している職場にも AED が設置してありますが、いつも目に入るだけで日常の中で使用するという事は、今まで考えたこともありませんでした。

講習を受ける前は、私に使いこなせるかという不安もありましたが、保育士という仕事をしている以上、いざという時に AED を

使いこなせなければという思いもありました。講習では、6 人 1 組のグループに分かれて、救命士の方が事前に AED の使い方を丁寧に説明してくださいました。

また、疑問に思うことにも詳しく教えてくださったので、心肺蘇生を実施する際の重要な部分がよく分かりました。今後、子供達の緊急の場面に遭遇した際は、保育士間で協力して、今回の講習で学んだことを活かし円滑に救命処置を行い、一人でも多くの人や子供達を助けたいと思いました。また、今回の講習で、119 番通報の大切さを知り、救急隊の方が到着するまでの間、出来る限りのことを実施して、救急隊の方に引き継げるようにしたいと思いました。



第36回防火ポスター展 金賞6作品決定



審査風景

(審査員 坂城小学校:唐木先生、上山田小学校:春日先生)

防火ポスター展は例年、児童生徒の防火意識の高揚と火災予防思想の普及を図るため行われます。今年度は更埴地区・坂城地区を中心に各小・中学校の皆さんから力作 205 点が出品されました。厳正な審査の結果、小山天音さんの作品 (1 頁参照) が最優秀賞として、消防本部が発行する来年の防火カレンダーに、そして優秀賞として齊間逸希さん、和田京羽さんの作品が、埴科消防協会と当協会等が発行し、各戸に配布する今年度の防火チラシの図案としてそれぞれ採用されました。

◎金賞入賞者の方は次の方々です。おめでとうございます。

治田小学校 6 年 小山 天音さん
五加小学校 4 年 齊間 逸希さん
五加小学校 5 年 和田 京羽さん



審査風景



住宅用火災警報器の設置はお済みですか？



～消防法の改正により、すべての住宅に設置が義務付けられています！～

総務省消防庁から発表された平成 27 年 6 月 1 日時点での住宅用火災警報器の設置率は、全国平均が 81% であるのに対し、長野県は 80.3% と平均を下回っていますが、千曲坂城消防本部管内の設置率は 81% となっています。(条例どおりに設置されているものは、78% です。) まだ、設置されていないご家庭がありましたら、火災が多くなるこの時期にぜひ設置しましょう。

また、住宅用火災警報器が正常に作動するように、半年に 1 回は清掃し、作動点検を行いましょう。なお、古くなると電池切れや、故障の恐れがありますので、設置から 10 年を目安に交換をお勧めします。

設置場所や警報器の種類等不明な点がありましたら、千曲坂城消防本部または最寄りの消防署にお問合せください。



火災予防条例改正による「消火器の準備と届出」義務化

平成 25 年 8 月 15 日に京都府福知山市の花火大会会場で発生した火災を踏まえ、千曲坂城消防本部では、昨年火災予防条例の改正を行い、祭礼、縁日、花火大会、展示会その他多数の物の集合する催しで火気を使用する場合、その主催者や火気を使用する露店などの関係者の皆さんに対して、消火器の準備や所轄の消防署にあらかじめ「露店等の開設届出書」の提出を義務付けています。

ただし、近親者によるバーベキュー、幼稚園などで父母等が主催するもちつき大会のように相互に面識があるものが参加する催しなどは対象外としています。

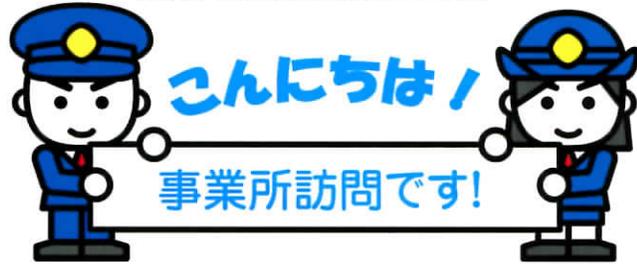
なお、開設届出書の提出により、火災予防の徹底をお願いすることを目的に、所轄の消防署で事前指導や現地指導をさせて頂く場合がありますので、よろしくお願ひいたします。



特定医療法人財団大西会 千曲中央病院



～今回は 特定医療法人財団大西会千曲中央病院
長野石油輸送株式会社 です～



地域に暮らす全ての人々が健康の喜びを享受できる明日を目指して・・・

千曲中央病院の歴史は、昭和 21 年 2 月中国南京より戻られた初代理事長 故 大西益太郎氏により同年 7 月 1 日当院の前身である「大西医院」を開業し、細やかながらここ更埴の地に医療の灯をともしたことに始まります。

益太郎氏は、「医者にとって本当の幸福は健康で毎日患者さんのために働ける事であり、感謝があつて患者さんがあるのではなく、患者さんがあつて医者があるべきだ」と肝に銘じて医療を続けておりました。

その精神は、現在まで脈々と受け継がれその時代の風をよみながら、激動の時代を度重なる増改築等を経て、平成 17 年 1 月 1 日市町村合併により、病院名称を更埴中央病院から現在の「千曲中央病院」に変更し、今年で 69 年目を迎えさせていただきます。開院以来地域の基幹病院としての責務を全うすべく、良質な医療の実践はもとより、24 時間の救急対応、地域の保健予防活動や健康増進活動、さらには訪問看護の充実、介護老人保健施設の運営など継ぎ目のないサービスの提供に微力ながら全力で努めております。

今後とも、地域住民の皆様の健康を守る「砦」として、地域の医療機関とも密接に連携しあい、地域医療・福祉の更なる充実を図り、皆様に親しまれ、信頼され、そして愛される病院を目指して、当院の経営スローガンである「情熱に勝る能力なし」をモットーに、職員一同日々新たな努力を続けて参りますことをここにお願いいたしますので引き続き、千曲坂城危険物防火管理協会ならびに関連機関の皆様の一層のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

長野石油輸送株式会社

長野石油輸送株式会社は、昭和 34 年 7 月 14 日に長野県上田市常入にて設立いたしました。同年 12 月 1 日、「特定貨物自動車運送事業」の免許交付を受け、昭和 35 年 2 月 1 日より、日本石油株式会社様（現 JX 日鉱日石エネルギー株式会社様）の石油製品を長野県内に安定供給すべく、輸送の業務を開始いたしました。（現在は「一般貨物自動車運送事業」の認可を取得）昭和 37 年 12 月に本社営業所を埴科郡坂城町（現住所）に移転し、昭和 40 年 4 月には、「自動車整備認証工場」の認可を頂き、車検と整備の業務を開始いたしました。



現在は、本社営業所、松本営業所と伊那出張所の県内 3 ヶ所で拠点を展開。製油所で精製されたガソリン・軽油・灯油などの石油製品を、長野県内（一部県外あり）のサービスステーションをはじめ、工場・ビル・学校や病院など様々なお客様へお届けしております。また、弊社は安全・安定供給の使命を果たし皆様が安心して生活が送れますよう様々な取組を行っています。最新の安全対策及び設備が施されたタンクローリー、全車両にドライブレコーダー及び衝突防止警報装置を導入。最新の IT 環境を整備し、GPS 管理による毎日の効率的配送計画の策定と実践。そして地球環境との調和を図ることも弊社の使命としてアイドリングストップ、急加速・急発進の禁止、適正な車間距離の確保などエコ・ドライブと走行マナーの向上を推進しており、乗務員に対する安全作業・安全運転の研修は定期的を実施し、「安全衛生活動強化月間」を設定これに取り組む事で、物流部門関係者の安全意識の高揚を図っています。これからも皆様に「信頼と品質の高いサービス」をお届けできますよう、社員一丸となって取り組みを続けてまいります。今後とも千曲坂城危険物防火管理協会様並びに関係機関のご指導とご鞭撻を頂き、危険物輸送の事故防止及び地域社会への貢献に努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

【編集後記】 今年は“申年”です。

十二支には順番がありますが、これは、お釈迦様へ新年の挨拶に来た順番だと言われています。

“申年”は「申（サル）」が「去る」という意味を表し、「悪いことが去る」や「病が去る」など、いいことや幸せがやってくるという年とする一説があります。

危険物災害に対しても、それぞれの事業所が取り扱っている危険物の特性をしっかりと把握し、いつ何時発生するか分からない災害に備え、申のように“組織が一致団結”し、日頃の訓練や点検を行うことにより危険物災害の無い安全で安心な街づくりをしていきましょう。